

省エネ基準工事監理報告書

(標準入力法)

当該報告書の記載事項と
省エネ計画内容の整合方法

報告内容 (以下の項目について申請図書の通り施工されたことを報告します。)

項目	報告事項	照合を行った 設計図書	確認方法	確認結果
1. 外皮	① 外壁等を構成している建材の仕様、設置状況	→	省エネ適合性判定図書 様式2-2 ⑤建材名称、⑥厚み	
	② 窓の仕様、設置状況 (ブラインドボックス、庇の設置状況を含む)	→	計算結果の「入力シート」 様式2-3 ④建具の種類、⑤ガラス種類 様式2-4 ③日除け効果係数、⑧ブラインドの有無	
2. 空調設備	① 熱源機の仕様、設置状況	→	計算結果の「入力シート」 様式2-5 ⑥熱源機種	
	② 冷暖同時供給の有無	→	計算結果の「入力シート」 様式2-5 ②冷暖同時供給有無	
	③ 熱源機器に係る台数制御の設置状況	→	計算結果の「入力シート」 様式2-5 ③台数制御、⑦運転順位	
	④ 蓄熱システムの仕様、設置状況	→	計算結果の「入力シート」 様式2-5 ④運転モード、⑤蓄熱容量⇒蓄熱システムを 採用する場合は運転モードに「有」が入力される	
	⑤ 2次ポンプの仕様 (流量制御方式を含む)、設置状況	→	計算結果の「入力シート」 様式2-6 ⑧流量制御方式	
	⑥ 2次ポンプの変流量制御の設置状況	→	計算結果の「入力シート」(上記⑤の欄に記入の場合) 様式2-6 ⑧流量制御方式が回転数制御の場合は、⑨ 変流量時最少流量比(%)が入力される	
	⑦ 2次ポンプに係る台数制御の設置状況	→	計算結果の「入力シート」(同上) 様式2-6 ②台数制御の有無	
	⑧ 空調機の仕様、設置状況	→	計算結果の「入力シート」 様式2-7 ③空調機タイプ	
	⑨ 空調機ファンの変風量制御の設置状況	→	計算結果の「入力シート」 様式2-7 ⑪風量制御方式が回転数制御の場合、⑫変 風量時最少風量比(%)が入力される	
	⑩ 予熱時外気取入れ停止 (外気カット) 制御の設置状況	→	計算結果の「入力シート」 様式2-7 ⑬外気カット制御の有無	
	⑪ 外気冷房制御の有無	→	計算結果の「入力シート」 様式2-7 ⑭外気冷房制御の有無	
	⑫ 全熱交換器の仕様、設置状況	→	計算結果の「入力シート」 様式2-7 ⑮全熱交換器の有無が「有」の場合、⑯全熱 交換器の設計風量、⑰全熱交換効率が入力される	
	⑬ 全熱交換器のバイパス制御 (自動換気切替機能) の設置状況	→	計算結果の「入力シート」 様式2-7 ⑮全熱交換器の有無が「有」の場合、⑱自動 換気切替機能の有無が入力される	
3. 換気設備	① 換気設備 (換気代替空調機を含む) の仕様、設置状況	→	計算結果の「入力シート」 様式3-2 ②設計風量、③電動機定格出力 様式3-3 ③必要冷却能力、④熱源効率、⑦設計風量	
	② 換気設備に係る各種制御 (換気代替空調機を含む) の設置状況	→	計算結果の「入力シート」 様式3-2 「制御等の有無」欄 ④、⑤、⑥ 様式3-3 「制御等の有無」欄 ④、⑤、⑥	

4. 照明設備	① 照明器具の消費電力、台数および設置状況	→	計算結果の「入力シート」 様式4 ⑥定格消費電力、⑦台数
	② 各種制御の設置状況 【在室検知制御・明るさ検知制御・タイムスケジュール制御・初期照度補正機能】	→	計算結果の「入力シート」 様式4 ⑧在室検知制御、⑨明るさ検知制御、⑩タイムスケジュール制御、⑪初期照度補正機能
5. 給湯設備	① 熱源機器の仕様、設置状況	→	計算結果の「入力シート」 様式5-2 ②燃料種類、③定格加熱能力、④熱源効率
	② 給湯配管の保温の仕様、設置状況	→	計算結果の「入力シート」 様式5-2 ⑤配管保温仕様
	③ 節湯器具の仕様、設置状況	→	計算結果の「入力シート」 様式5-1 ③節湯器具
	④ 太陽熱利用設備の仕様、設置状況	→	計算結果の「入力シート」 様式5-2 ⑦有効集熱面積、⑧集熱面の方位角、⑨集熱面の傾斜角
6. 昇降機設備	昇降機の仕様、設置状況	→	計算結果の「入力シート」 様式6 ③台数、④積載量、⑤速度、⑦速度制御方式
7. 太陽光発電設備	① 太陽光発電の仕様、設置状況	→	計算結果の「入力シート」 様式7-1 ③太陽電池の種類、④アレイ設置方式、⑤アレイのシステム容量、⑥パネルの方位角、⑦パネルの傾斜角
	② パワーコンディショナの仕様、設置状況	→	計算結果の「入力シート」 様式7-1 ②パワーコンディショナの効率
8. コージェネレーションシステム	コージェネレーションシステムの仕様、排熱利用先	→	計算結果の「入力シート」 様式7-2 ③機器名称、④発電効率、⑤排熱回収率、⑥発電依存率、⑦有効熱利用率、⑧有効排熱量の冷熱利用比

[注意]

1. 本様式は、「標準入力法」により建築物エネルギー消費性能基準への適合性を確認した建築物に係る工事監理を対象としています。
2. 計算対象となる設備等が無い場合は、当該設備等に係る項目の記載は不要です。
3. 「照合を行った設計図書」の欄は、建築物省エネ法施行規則第3条に規定する図書のうち、工事監理で照合を行った図書を記載してください。
4. 「確認方法」の欄は、A・B・Cのうち、該当するものを○で囲んでください。Cに該当する場合は、確認に用いた具体的な書類を記載してください。
A：目視による立会確認 B：計測等による立会確認 C：施工計画書・試験成績書等による確認